

取組名称	人命と海洋環境を守る循環型森林整備システムの構築			団体設立後の経過年数	3年
応募取組主体名称	合同会社もものわ	活動地域	宮城県石巻市	応募取組の活動年数	3年
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくし賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

宮城県石巻市牡鹿半島を拠点に「海に良い影響を与える林業」をテーマとした森林資源利活用事業を展開しています。事業フィールドは小規模で荒廃した人工林を活用し、チェーンソー技術指導を軸に林地残材の価値創出や森林教育の事業を通じて、結果的に間伐がなされ森林整備に繋がり、経済的にも持続可能な仕組みを構築しました。“森里海”、“人×自然”、“地方×都市”、“林業×他産業”に好循環環境が生まれるよう多角的なアプローチをしています。

実績の要旨

事業を通じて間伐を進めることにより、災害に強く生物相の豊かな森林が形成される仕組みが構築できました。これにより、土砂災害等の抑止に繋がり、人命の安全にも寄与しています。また、未利用資源を活用した商品開発により、それまでに得られなかった利益が確保でき、その利益を整備費用に充てることで、持続的に活動が可能なサイクルが構築できました。他業種との協働や関係人口は1,620人となり、森林拠点は東北6県に拡大中です。災害からの復興を共通項とし、ハワイやロサンゼルス等の山火事被災高校生との交流プログラムも実施するなど、国内はもとより海外への広がりも見せています。

取組評価の要旨	環境への貢献	森林の間伐することにより得られる災害抑止効果、多面的機能の保全効果。
	社会・経済への貢献	レスキュー隊の救助能力向上と、それにより得られる災害抑止効果により、レスキュー隊員と市民の命の双方が守られる。
	地域資源の活用	間伐材や未利用の林地残材を商品化することによる、新たな経済効果の創出。
	普及・汎用性	宮城県1県の活動範囲から、現在は東北3県に広がり、さらに2県の拡大調整中。ハワイマウイ島およびロサンゼルスとも交流を深めている。
	革新・ユニーク性	林業×レスキュー、林業×食など、斜陽産業といわれる林業分野において、新規サービスの開発を実現。
	継続性	飲食店分野での杉ハーブティーのリピート利用や、教育研修においても定期的な活動が継続している。

展望の要旨

間伐作業による効果を大学や研究機関と共に可視化・数値化し、このデータを基に他地域へ横展開していきます。